

静岡文化芸術大卒業生の女性漫画家まるかわさんが26日、浜松市中区の同大を訪れ、横山俊夫学長に自身の漫画シリーズ新作「よろずの候」第3巻を贈呈した。

「よろずの候」は同市天竜区を舞台に、人間と地元で伝わる妖怪の交流を描いている。登場人物が遠州地方の方言を話し、季節の食べ物を取り上げるなど地域

## まるかわさん、母校静岡文化芸術大に新作

天竜舞台の漫画作者

色豊かな作風が特徴。最終巻となる今作には、同区水窪町と長野県飯田市南信濃の「峠の国盗り綱引き」を描いたエピソードなどを取り入れた。

まるかわさんは「読者が(漫画で描いた)天竜区を散歩したり、遠州弁を思い

出したりするきっかけになれば」と話した。横山学長は「世界は人間だけのものではない、という大事なメッセージが込められていると思う」と語った。

横山学長(左)に漫画を手渡すまるかわさん＝浜松市中区の静岡文化芸術大

